

第119回 定例研修会

「虐待対応と関係機関の連携のあり方」

～私たちは、それぞれ、どう対応する？医療機関と連携するには～

松戸市立総合医療センター 小児科医長 小橋孝介先生

講師の先生が所属する松戸市立総合医療センター（千葉県松戸市）では院内に設置された「家族支援チーム」で虐待を受けた子供の診察・治療や、児童虐待の防止に取り組んでいます。小児科医や看護師、ソーシャルワーカーが構成メンバーです。

先生はメディアのインタビューに答え「子供の異変に気づいた人が医療につながられるかが鍵だ。例えば学校などで子供にあざを見つけたら、『血が出やすい病気かもしれない。病院へ行ったほうがいい』などと理由をつけてもいい」「子供に傷を見つけた保育園が、児童相談所に直接通告するのはハードルが高いので、病院に連絡し、病院がまず対応することはよくある。」と具体的対応についてお話されています。

今回も、参加された方々が今後、使える具体的対応や連携についてお話していただきます。皆様の参加をお待ちしております。

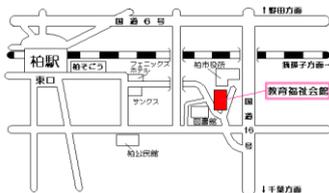
【講師紹介】

2005年自治医科大学医学部卒業。国立精神・神経医療研究センター病院を経て現職。日本子ども虐待防止学会代議員、チャイルドファースト PROJECT 代表、一般社団法人こどものみかた理事。

日時：令和元年5月24日（金）18：30～20：45

参加費：2,000円（当ネットワーク会員は無料）

会場：柏中央近隣センターアミューゼ柏 会議室A（会場が変更されています）



お申し込みは不要です。

当日会場へ直接お越し下さい。

*次回の予定：7月（金）、会場の抽選予約の都合により未定です。決定次第、ホームページでお知らせします。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。

お問い合わせ先：特定非営利活動法人 地域学校精神保健福祉ネットワーク事務局 代表 工藤 剛

〒277-0005 柏市柏 2-7-3-505

URL <http://youthsupport.epoch-net.ne.jp/> E-mail: npolnet@post.epoch-net.ne.jp